

USMLE/部活/マッチング/留学、、、 妥協したくない人のために

Miho Akabane

Kyoto University Faculty Of Medicine

京都大学医学部医学科6回生

USMLEなんで受けるの???

Aさん:「医師としてUSAで磨きをかけたい!」

→・医師:「心外や特別な移植でなければUSAに行く意味はそんなにないぞ」

Bさん:「ちょっとかっこいい」

→・友達:「意識高.....(笑)」

Cさん:「ノリで...」

→・友達(国試大丈夫なのだろうかこの人。。。)

メリットとデメリット

医学英語に
困らない

時間

USAで働く資格

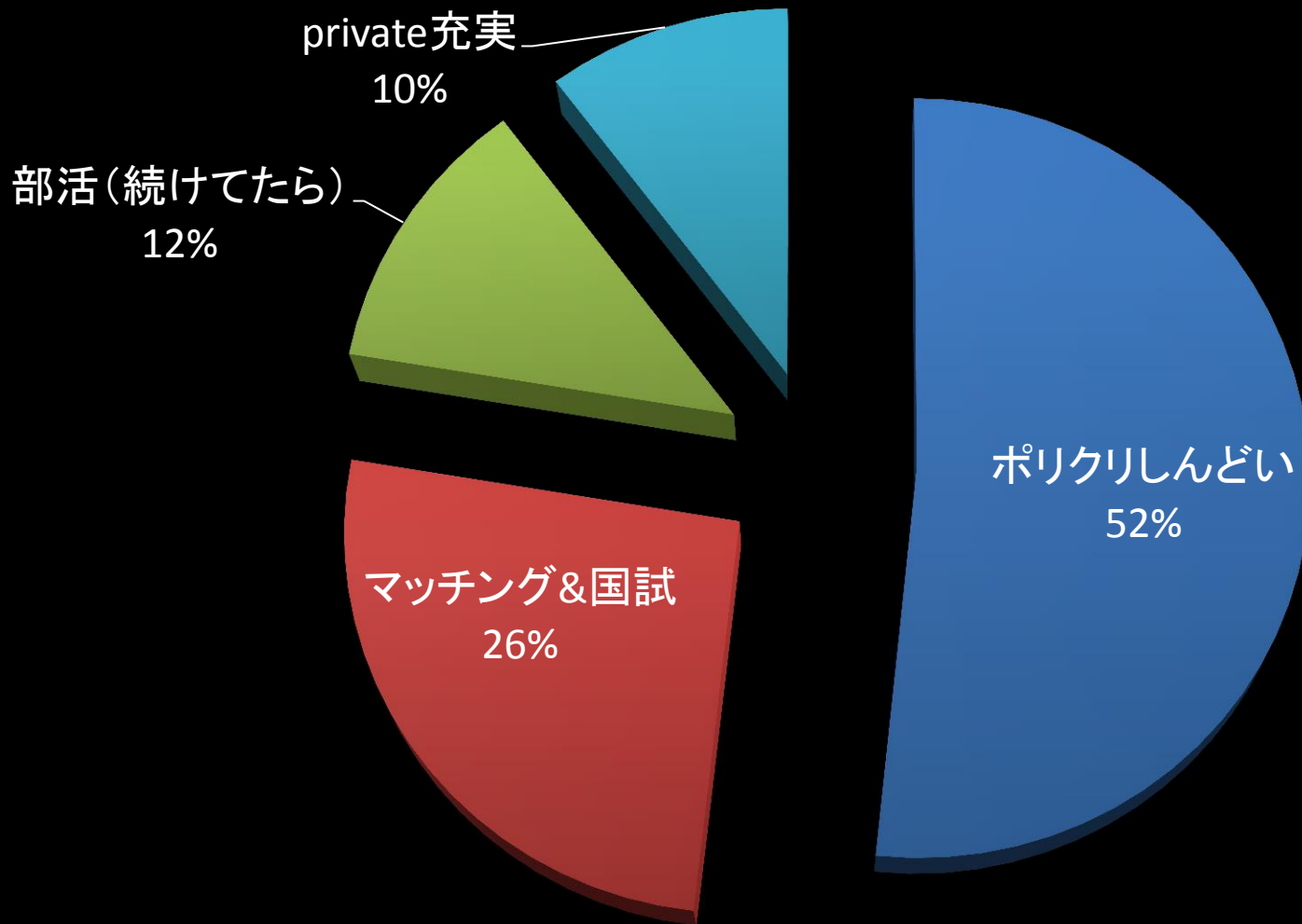
自分のappeal

金

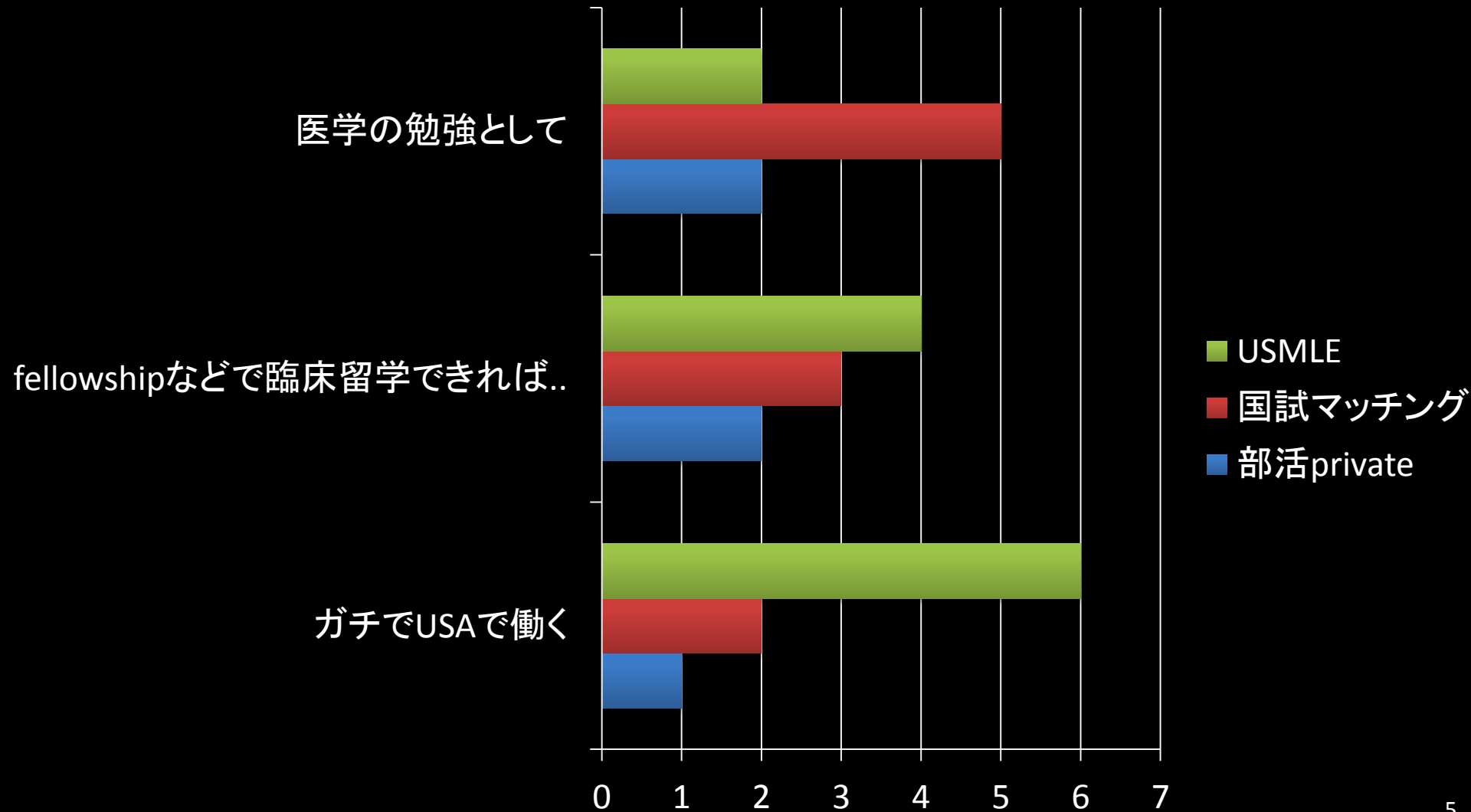
違った切り口での
医学勉強

国試、マッチン
グ大丈夫？

医学部5,6回生の頭の中



USMLEに何を求めるか



私の場合

- ・臨床留学の可能性を残したい
- ・デメリットが金と時間くらいで、やって意味有るならせっかくならしっかやりたい。

→5回生から勉強はじめた

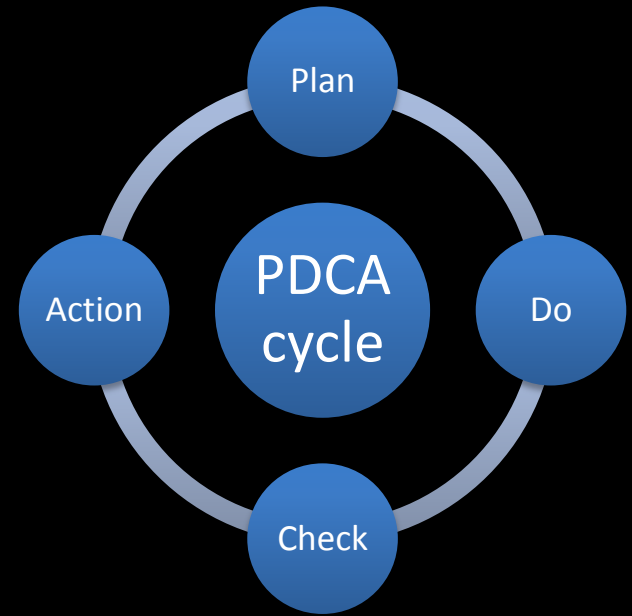
- * 4回生までは何もしてない(バイトと部活週6)
- * マッチング頑張りたい(ある程度勉強せなあかん病院)

私の場合Plan(PDCA cycle)

- P

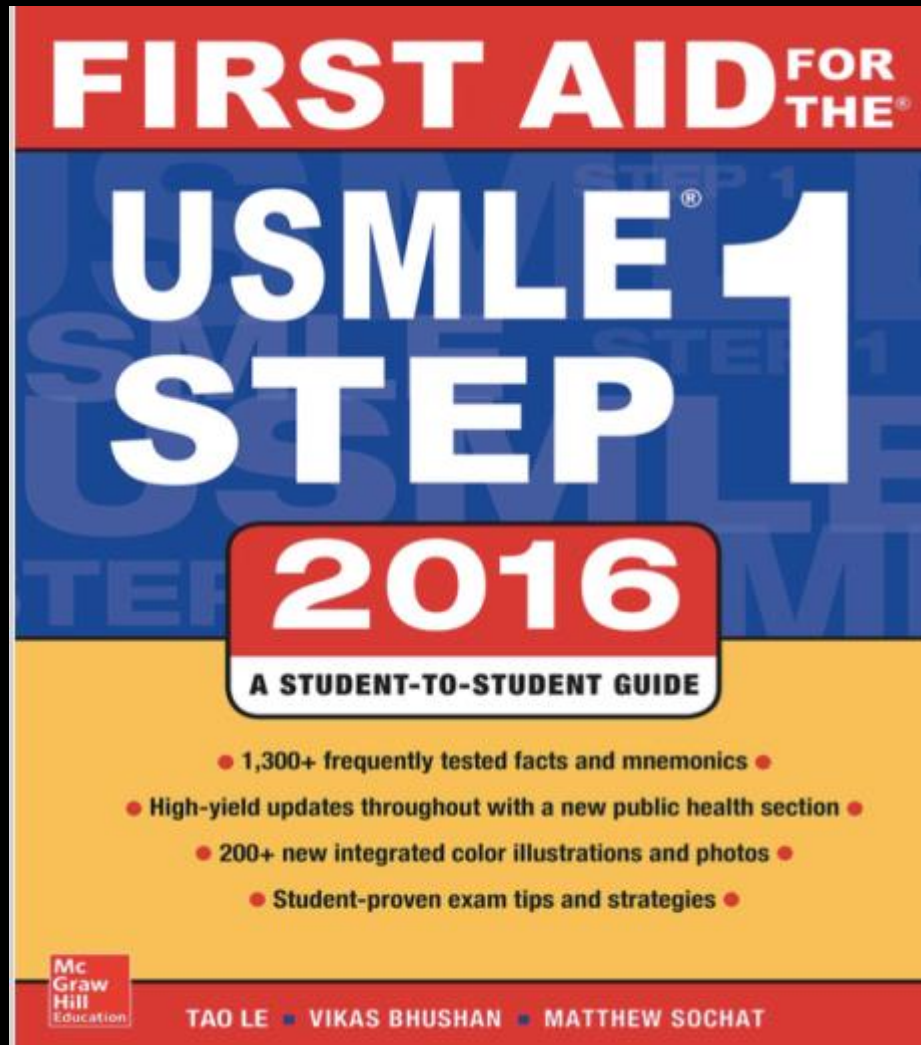
→

5回生の末に受ける(USの医学生年平均目標)
6回生は夏までマッチング・秋に留学・冬に国試



私の場合Do (PDCAcycle)

- D
→通読



私の場合Do(PDCAcycle)

- D

→問題演習

Kaplan/ Uworld

→定期的に模試受ける

NBME

4blockで予想点数

(これが結構本番に近い)



<https://www.uworld.com/>

私の場合Check(PDCAcycle)

- C

→NBMEでなかなか目標点数にいかない

→受験時期3ヶ月のばそう...(5回生3月→6回生6月)

→マッチング...(6回生8月)

西医体.....(6回生7月、8月)

留学、英会話...(6回生9月)

私の場合Action(PDCAcycle)

- A

→

FAの通読もう一度

模試、問題集の復習

* YNやらQBには全く触れてない

(友人としゃべるとある程度焦る)

USMLEの受験のまとめ

- 勉強のきっかけ:なんでもいい
→とりあえずやって自分の知識となることが大切。まわりは気にしない
- USMLEの勉強の目標は何なのか:人によって
- 受けるなら、FA,問題集2つ(特にUW)はやろう
- 時間はある!!!!!!
- CBTまでにある程度理解して勉強しておくともっと楽(自分はしていなかったので苦労した)
- 情報収集は積極的に

医学生としてのclinical clerkship

- ・UC San Diego の消化器内科(6回生の9月～10月)



医学生としてのclinical clerkship

- 典型的な一日(病棟)

6:00am 病院到着

~8:00am 持ち患者の問診、カルテ記載

~12:00am rounding(患者のpresentation)

* roundingが15時にまで及ぶことも

~13:00 教育カンファレンス

~16:00 様々なカンファレンス(他科合同etc)

通勤中の朝日



最終日のsunset beach



Clinical clerkshipのまとめ1

- 会話としての英語が一番大事
- 病名だけでなく議論が全て英語なので、概念を理解していても日本語で理解しているだけでは説明できないことも多々あるので、USMLEを用いた医学の英語での理解は有用

Clinical clerkshipのまとめ2

- 英語、勉強ができるのは前提として、どういう人なのか、他人と違ってこの人のuniqueな点、魅力はあるのか、というのが意外に大事

→勉強だけしかできない人間ではなく幅が大事
(部活を含めたPrivateの時間を1割設定してあるのはそのためです。)

最後に

トランプの移民対策の一環で高度専門職向けのH1bビザへの敷居が一気に上がりそう。

- H1b visa holderの最低賃金が今の2倍の13万ドル/yearになる
- resident/fellowの給料ではvisaとれない
- J1visaの競争が激しくなりそう

→USAの臨床留学はStep1をとってもスタートラインにたったくらいでしかないというのを知っておくべき

→ただ、将来は誰にも予測付かないので資格をとるだけとっておこう、という考えもありでは??

ご清聴ありがとうございました